

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北海道)		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・北海道胆振東部地震の影響で9月の売上は前年比75.2%であったが、10月半ばから外国人観光客が少しずつ戻っていることで、10月の売上は前年比87.9%まで回復してきている。日本国内の景気が少しずつ良くなっていることで、国内からの観光客が好調であるため、今後の景気は良くなる。
		一般小売店〔酒〕(経営者)	・前月に起きた北海道胆振東部地震の影響もほぼなくなっており、回復基調にある。当地では他県や他都市からの出店が増加しており、それに伴い取引先も増えていることから、今後の景気はやや良くなる。
		百貨店(担当者)	・これから冬物や贈答品のニーズが高まっていく時期であるため、景気はある程度上向くことになる。
		百貨店(営業販促担当)	・衣料品の動きが鈍い状況は一時的な動向とみられ、今後の気温の冷え込みに伴いコート、ニット製品が動き出すことが見込まれる。雑貨が回復基調となっていることもプラスである。
		コンビニ(エリア担当)	・北海道胆振東部地震の影響で外国人観光客を中心に観光客が減少していたが、10月下旬から少しずつ外国人観光客が戻ってきていることから、今後の景気はやや良くなる。
		コンビニ(エリア担当)	・10月の売上は9月の反動で減少したが、減少した数値をベースに考えると、この先は良くなる。ただし、景気が良い方向に向かっていくといえないため、前年比でみた数値は、来客数、売上共に厳しいことが見込まれる。
		衣料品専門店(店長)	・クリスマスに向けてのギフト需要やボーナスでの自家需要が増えることが見込まれるため、今後の景気はやや良くなる。
		家電量販店(経営者)	・北海道胆振東部地震やその後の停電の影響でLEDライト、ラジオなどの防災商材、ポータブル石油ストーブが好調を維持していることから、今後の景気はやや良くなる。また、4K放送の開始に伴いテレビの売上が伸びることも期待できる。
		家電量販店(店員)	・12月から始まる4K放送の効果を期待している。
		旅行代理店(従業員)	・例年、11～1月は観光閑散期になるが、1月以降は北海道ふっこう割による需要喚起を足掛かりに、流水観光や年々参加者が増加している冬季体験型観光における個人需要の取り込みが期待できる。
		旅行代理店(従業員)	・今後については、北海道ふっこう割による効果が期待できる。
		タクシー運転手	・ここしばらくなかった問合せや見積依頼が、少しずつではあるが増えてきている。秋から冬にシーズンが切り替わる時期でもあるため、今後の景気が良くなることを期待している。
		タクシー運転手	・これから年末の繁忙期を迎えるため、現在の消費ムードの高まりが今後も持続することになる。
		観光名所(従業員)	・9～10月は北海道胆振東部地震や台風による被害の影響で景気の底であったとみられるため、これからは各種復興支援キャンペーンなどによる下支えもあり、徐々に景気が回復すると期待している。
		商店街(代表者)	・デフレ不況が続いているなか、国民の貧困化が止まらない限り、今後も景気の低迷が続く。
	商店街(代表者)	・客の反応をみると、大きな出来事に対しても一喜一憂せず、にふだんと変わらないまま過ごしていることから、今後も情勢は変わらない。	
	商店街(代表者)	・この先、燃料価格が低下したとしても、年始月の出控え傾向はここ数年のすう勢であり、年金の支給月でもないことから、今月と同様、例年よりやや悪い状態が見込まれる。ただし、地域内の夜型飲食店については例年どおりの売上が見込まれる。	
	商店街(代表者)	・北海道胆振東部地震後は観光客の大幅な減少がみられたが、北海道ふっこう割などの効果により国内観光客が増えており、前年の95%まで回復してきている。一方、外国人観光客は戻りが鈍く、前年の90%程度にとどまっている。ただ、外国人観光客については回復傾向がみられることから、年末までには以前の水準に戻りそうな気配がある。年間を通して考えてみると、9月の売上は金額が大きい分、落ち込み分を取り戻すにはほど遠い状況にある。	
	商店街(代表者)	・果実の収穫量が少なくなることが見込まれるため、厳しい状況は今後も変わらない。	

一般小売店〔土産〕 (経営者)	・北海道胆振東部地震の影響は、風評被害など、印象面での影響が強いため、国内客については、正確な情報がどんどん発信されていることに加えて、北海道ふっこう割などの効果により、底上げが進む。一方、外国人観光客については、少しずつの回復となり、時間が掛かることが見込まれる。むしろ、外国人観光客については、世界同時株安のような状況がみられる中、日中貿易摩擦、貿易戦争といったことの影響がこれから出てくることを心配している。
百貨店(売場主任)	・国内客については、高額商材の動きが悪く、食品の動きが良いという今の状況が年内も続くことになる。また、百貨店において売上シェアが伸びてきている外国人観光客については、北海道胆振東部地震以降、前年割れが続いており、来年の春節まではこの状態が続く。
百貨店(販売促進担当)	・北海道胆振東部地震の影響から、これから年末に向けて、客の生活防衛意識が高まっていくことを懸念している。また、原油の価格高騰に伴い冬の暖房に使う灯油の価格が高騰していることで、客が生活必需品以外の出費を控えることが見込まれるため、景気はしばらくの間横ばいで推移する。
百貨店(役員)	・現在の市況から、今後も景気は変わらない。
スーパー(店長)	・トレンドが変わらないため、今後も変わらないまま推移する。
スーパー(店長)	・これから冬の積雪期を迎えるが、ガソリンや灯油の価格上昇の影響により消費者の財布のひもが固くなるが見込まれ、今後も節約志向や生活防衛意識が継続することになる。
スーパー(店長)	・景気の変動要因がないため、今後も景気は変わらない。
スーパー(店長)	・周りの他店の状況を見ると、前年並みの売上を確保できそうな店がたくさんある。一方、当店に関しては、来期に向けてのリニューアルが行われているため、余りお金をかけることができない状況にあり、なかなか売上を伸ばせるような環境にない。
コンビニ(エリア担当)	・景気が良くなる要因も、悪くなる要因も見当たらないため、今後も同様の状態が継続する。
コンビニ(エリア担当)	・北海道胆振東部地震の影響で、今後、工事業者が震災の復興需要を中心に回っていくことが見込まれる。地域で主だった公共投資などもないため、今後の景気は変わらない。
乗用車販売店(経営者)	・新型車の投入計画もみられず、中古車販売の商材不足もあり、販売量の増加が厳しい状況にある。サービス在庫量が回復傾向に転じてきているが、全体的にみれば大きな変化は期待できない。
自動車備品販売店(店長)	・ドライブレコーダーの需要が落ち着き始めており、車メンテナンスやナビ、車内用品などの趣向品の販売も前年並みで推移していることから、今後も景気は変わらない。
その他専門店〔医薬品〕(経営者)	・景気の不透明感が強いまま、年末を迎えそうである。企画やイベントを行っても、売上を増やす決め手とまではなっていないことから、今後も景気は変わらない。
高級レストラン(スタッフ)	・飲食業界にとって、北海道ふっこう割が思いのほか効果的であり、今後も同様の効果が期待できる。
旅行代理店(従業員)	・景気が良い方向へと向かうような判断材料に乏しいため、今後も景気は変わらない。
旅行代理店(従業員)	・先行数値が変わらないため、今後も景気は変わらない。
タクシー運転手	・北海道胆振東部地震の影響による経済損失が大きく、復興にまだ時間が掛かりそうなことから、今後も景気は変わらない。
通信会社(社員)	・ここ数か月の流れをみても、景気が上向き傾向になるとは考えられない。
通信会社(企画担当)	・冬商戦に向けた新商材への期待感があるものの、現状を打開できるほどの効果はないとみられるため、今後も景気は変わらない。
観光名所(職員)	・北海道胆振東部地震の影響で来客数がかかり減少している。地震前の水準まで回復するには対応の時間が掛かるとみられるため、今後の動向が懸念される。
美容室(経営者)	・ガソリン、灯油の値上がりによって現在堅調に推移している消費意欲がやや衰退するような雰囲気が客の会話の中から感じられる。特に灯油の値上がりは、地域柄、心理的にかなりの影響を及ぼす懸念がある。
美容室(経営者)	・10月は物販の売上が良かったため、多少売上が良かったが、ここ数か月、来客数がほとんど変わらないため、今後の景気が良くなるような要素が特に見当たらない。
その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕(従業員)	・冬を迎えるとともに、欠航が増加することを懸念している。

	住宅販売会社（経営者）	・最近、米国の長期金利が上昇傾向にあり、株価も低下していることから、心理的に不動産購入に対して抵抗感が出てくることを懸念している。日本の長期金利が米国につられて上昇することになれば、消費税増税前における分譲マンションの駆け込み需要が大幅に減少することも懸念される。	
	スーパー（企画担当）	・北海道胆振東部地震後の消費に対する消極姿勢、酪農業の不振、米穀を始めとする農作物の作柄低迷、ガソリンや灯油の価格上昇など、消費に対するマイナスの要因が目白押しのため、先々の消費は厳しさを増すことになる。	
	スーパー（役員）	・小売業においては、スーパーマーケットやホームセンター、ドラッグストアなどによる業態を超えた競争が進んでいること、人口減少の影響を受けていることなどがこれまでも言われてきているが、最近では来客数確保に向けた競争が激化しており、商品価格の引下げやポイント還元率の上昇などにより単価を落とす部門が増加している。結果的に客単価も低下しており、今後は売上確保が厳しくなる。	
	スーパー（役員）	・北海道胆振東部地震で被害を受けた人がいることで、お歳暮を送ることや年賀状を出すことをやめるといった声が客から聞こえてくる。	
	衣料品専門店（店長）	・冬の買換えを控えると回答する顧客が多いため、今後については厳しい状況が見込まれる。	
	乗用車販売店（従業員）	・今後については、降雪の時期を迎えて市場が縮小する時期であるため、余り多くは望めない。	
	乗用車販売店（従業員）	・2～3か月後は、年内から年明けにかけての時期になるが、春商戦の盛り上がりを見せる時期にはまだ早い。消費税が10%に引き上げられることに対する駆け込み需要も、もう少し後になるとみられるため、景気はやや悪くなる。ただし、その後は景気が向上することになる。	
	乗用車販売店（従業員）	・消費税増税の話題があるため、客が消費に対して前向きになれない。特に耐久消費材は辛抱して使うことが見込まれる。	
	その他専門店〔造花〕（店長）	・北海道胆振東部地震の影響による観光業の落ち込みや、客の購買意欲の低下がみられるため、今後の景気はやや悪くなる。	
	高級レストラン（経営者）	・北海道胆振東部地震の影響がまだ続いている。観光客が戻ってこないため、地震以前の水準にはなかなか戻らない。	
	観光型ホテル（経営者）	・これから冬の観光シーズンを迎えるが、冬季の予約数が全く伸びてこない。例年では考えられない低調な状況にある。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・団体旅行、教育旅行、外国人観光客がマイナス傾向にある。Web予約の個人旅行、ビジネス客での巻き返しが見られるものの、落ち込みを解消するには及んでいないことから、今後の景気はやや悪くなる。	
	旅行代理店（従業員）	・農業の収穫が前年を下回ることが見込まれることから、今後の景気はやや悪くなる。	
	タクシー運転手	・今後の動きについて予測も付かない状況にある。これから冬期間を迎えて、観光客の減少する時期となるため、今の状況では期待も持てない。	
	タクシー運転手	・ガソリン、灯油の価格上昇に伴い客の消費控えが強まることになる。	
	パチンコ店（役員）	・原油の価格上昇により、これから冬を迎える北海道では加工業のみならず、一般家庭にも大きな影響が生じることになる。	
	美容室（経営者）	・国による中小企業向けの消費税増税対策が何も進んでいないため、今後の景気はやや悪くなる。	
	×	商店街（代表者）	・オフシーズンとなるため、今後の景気はやや悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・消費税増税を控えて消費が減退することになるため、今後の景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・北海道胆振東部地震後、日中の需要は回復しているものの、夜間の売上が伸びてこない。この傾向は当面続くこととみられるため、今後の景気は悪くなる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・株式市場の動きが荒れているため、先行きが不安である。また、北海道胆振東部地震の影響もまだ収まっていないことから、景気が悪い方向に向かうことを懸念している。
企業動向関連			
(北海道)		輸送業（営業担当）	・今年の農作物の収穫が平年並みであったため、今後の本州向けの農作物関連製品の荷動きが相当量期待できる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・災害復旧や北海道新幹線の札幌延伸に伴う需要が増加見込みであることから、今後の景気はやや良くなる。

	その他非製造業 [ 鋼材卸売 ] ( 従業員 )	・これから冬季商材の動きが活発になり、流通量が増えるほか、震災に対する備えなどでも商材の納入、受注が増えることが見込まれることから、景気はやや良くなる。
	家具製造業 ( 経営者 )	・天候不順に加えて、原油価格の高騰などもあり、景気を向上させるような好条件が見当たらない。
	建設業 ( 従業員 )	・観光業界の建設投資意欲は低下しているが、震災復興関連の地盤調査などの特需により、土木業界は来春まで新規受注が困難な状況にあるため、短期的には景気は変わらない。
	建設業 ( 役員 )	・今年度内の工事量はほぼ確定しているため、今後も景気は変わらない。次年度に向けては、道内公共投資の減速傾向は変わらないが、台風や北海道胆振東部地震に伴う災害復旧対策工事の動きが本格化することが見込まれる。
	金融業 ( 従業員 )	・北海道胆振東部地震の悪影響は緩和されてきているが、観光関連産業では地震の風評被害払拭にある程度の時間を要することが見込まれるため、当面は地震の悪影響が残り、現状程度で推移する。
	司法書士	・年末に向かって、不動産関連全般において若干の伸びが出てくるが見込まれるが、長期的には景気に大きな変化はないまま推移する。
	司法書士	・消費税増税の動向が景気回復の足かせとなり、今後の消費行動が鈍ることを懸念している。景気を向上させるような材料もないため、今後の景気は現状維持が精一杯である。
	その他サービス業 [ 建設機械レンタル ] ( 総務担当 )	・5月以降、売上が前年並みで推移していることに加えて、北海道胆振東部地震の影響もあり、全体としては一進一退の状況が続く。災害復旧工事も通常の工事執行予算を大きく上回って行われることはないと思われる。
	食料品製造業 ( 従業員 )	・北海道胆振東部地震によりと畜場に被害が出ており、今後の肉の仕入れへの影響が懸念される。
	建設業 ( 経営者 )	・今後については、土木、建築共に新規受注が減ることになる。手持ち工事は最盛期を迎えるが、作業員が不足している。耕作地での作業が必要となる農業土木工事については、今後の天候次第で状況が大きく変わる。これから補正予算の審議が始まるが、次の第2次補正予算の規模がマインド面で大きな影響を与えることになる。
	輸送業 ( 支店長 )	・ここにきて燃料価格が高騰しているため、物流業においては収支を圧迫することになる。
	通信業 ( 営業担当 )	・9月に発生した北海道胆振東部地震の余波が企業活動に直接的な影響をもたらし始めている。企業の様子見感が強まり、来期の投資計画に対する慎重姿勢が強まっている取引先が増えてきていることから、今後の景気はやや悪くなる。
	司法書士	・北海道胆振東部地震による経済的影響が北海道全体に及んでいることに加えて、当地の稲作の不作が明らかになっていくことで、今後の不景気が見込まれることから、不動産の売買、建物の新築受注の増加は期待できない。
	その他サービス業 [ ソフトウェア開発 ] ( 経営者 )	・北海道胆振東部地震の影響で、今後の景気はやや悪くなる。
	×	食料品製造業 ( 従業員 ) ・特に景気が向上するような案件もないため、下期も引き続き前年から1割程度のダウンで推移するとみられる。また、北海道胆振東部地震による損害や製造工程への影響に加えて、電気、燃料などのエネルギーコストの上昇により利益確保が難しい状況となっている。これらのことから、今後の景気は悪くなる。
雇用 関連 (北海道)	-	-
	求人情報誌製作会社 ( 編集者 )	・年末年始にかけて、これまで抑えていた消費意欲が旺盛になり、北海道胆振東部地震前の状況に戻るのではないかと期待をしている。国内客、外国人観光客についても徐々に戻ってくるとみられる。
	学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	・11月に開催予定の大学3年生向けの学内研究会において、多くの企業からの参加申込みがあることから、企業側の採用意欲が前年以上に高まってきている状況がうかがえる。
	人材派遣会社 ( 社員 )	・年末に向けての人材確保に企業が早くも動き出しており、売上増を見込む企業が多いことから、しばらくは今の状況が続く。
	求人情報誌製作会社 ( 編集者 )	・求人を募集しても思うような人材の獲得が難しくなってきたが、企業の求人意欲は潜在していることから、これからも積極的に推移することが見込まれる。
	求人情報誌製作会社 ( 編集者 )	・北海道の観光業が活気を取り戻すまで、もうしばらく時間が掛かりそうだが、冬の観光が起爆剤になることを期待している。

	求人情報誌製作会社 (編集者)	・人手不足感から企業の採用意欲がそがれ、業種によっては諦めムードが出てきている。特に飲食業において、そうした傾向が顕著である。また、当地は法人所得が道内でも低い地域であるため、個人所得も低くなる傾向が強く、食料品、日用品といった生活必需品以外の個人消費が伸び悩む傾向もみられる。これらのことから、中長期的には影響が出てくるとみられるが、2～3か月先の景気は変わらないまま推移する。
	新聞社 [ 求人広告 ] (担当者)	・基幹産業である農業の産出額が前年をやや下回るという予測があることから、当地の消費を支えている農業関係者の消費性向が弱含みで推移することを懸念している。
	職業安定所 (職員)	・月間有効求人数は前年を下回ったものの、月間有効求職者が減少する傾向にあることから、しばらくは求人倍率が前年を上回る傾向が続く。
	職業安定所 (職員)	・有効求人倍率が11か月連続で前年を上回り、業種によっては人手不足の状況が深刻化している。
	職業安定所 (職員)	・スルメイカの不漁の影響でイカを原料とする加工業者の業況の先行きに不安がある。
	職業安定所 (職員)	・8月の大雨、9月の北海道胆振東部地震、最近の灯油及びガソリンの価格高騰などが、今後の景気に悪い影響を及ぼすことを懸念している。
	x	-